

2019 年度 東京都心理専門記述問題と解答例

1 ピアジェの「三つの山問題」について説明せよ。

ピアジェは、子どもの空間認識の発達を調べる実験として「三つの山問題」を行った。具体的には、1m四方の台の上に、ボール紙で作った大きさの異なる3つの山があり、その四方の辺に人形を置く。その人形から見えるそれぞれの山の風景を、用意された絵から選ばせるなどによって判断させる。すなわち、この課題は、自分の視点を離れて他の視点を取ることができるようになると達成できるものである。

実験に参加した子ども達の結果は、次の通りであった。前操作期にあたる4～5歳の子どもは自分自身の視点の絵しか選べなかった。前操作期から具体的操作期に入る段階の6～7歳、7～9歳の子どもも、異なる視点を取ろうとするものの、山の高さなど要因を関連づけられず、正しい絵を選べなかった。具体的操作期の9～10歳の子どもになると、自分とは異なる視点を取りつつ、山の前後や左右の情報を総合して、正しく答えられた。

ピアジェは、前操作期の思考の特徴を、「自己中心性(中心化)」であるとした。つまり、自分の視点、一つの視点しか取れないということである。この「三つの山問題」でも、前操作期の初期の子どもは、自分からの見えと他者からの見えの違いを考慮できていないことが明らかにされた。これに対し、自分の視点から離れて、他の視点を取れるようになることを、ピアジェは「脱中心化」と呼んだ。脱中心化していれば、「三つの山問題」の正答を出すことができるはずだが、この問題は他の視点から、山の前後や左右を見分けて、それらを協応させる必要があるため、具体的操作期であっても9～10歳になるころから正しく答えられるようになると考えられる。(686字)

文献：滝沢武久・山内光哉・落合正行・芳賀純 1980 ピアジェ 知能の心理学 有斐閣新書

2 ラザルスの心理学的ストレスモデルについて説明した上で、コーピングについて述べよ。

ラザルスの心理学的ストレスモデルでは、人のストレス反応が2段階の認知的評価を経ると仮定する。ゆえに、認知的評価モデルとも呼ばれる。

このモデルでは、ある刺激が与えられた場合、一次的評価においては、①無関係、②無害-肯定的、③ストレスフルの3つに区別される。刺激がこれらのうち、③ストレスフルに区別され、それが脅威的とみなされた場合、その刺激(ストレッサ)が対処可能か、対処としてどのような資源が利用可能かといったことが同時並行的に評価されるが、これが二次的評価である。ここで対処が有効でない、不可能であると評価されると心理的、身体的な様々なストレス反応が生じる。ここで出てくる「対処」がいわゆるコーピングである。

ラザルスは、コーピングを、環境からと自分の内部からの強制的圧力の双方かいずれか一方を、適切に処理し統制しようとしてなされる、絶えず変化する認知的、行動的努力であると定義する。コーピングは問題焦点型と情動焦点型の2つに大別される。前者は、ストレッサそのものに焦点を当て、問題の所在を明らかにしたり、分析して解決策をあてはめようとする方略である。後者は情動面に焦点化し、問題を回避したり、気晴らしやリラックス等によってストレッサによる情動的苦痛を取り除こうとする方略である。多くの人は、両者のコーピングを組み合わせるが、両者の組合せの仕方によっては、効果

を促進することもあれば、抑制することもある。(608 字)

文献:

ラザルス, フォルクマン(著) 本明寛・春木豊・織田正美(訳)1997 ストレスの心理学 実務教育出版

3 次の語句について、それぞれ説明せよ。

(1) 運動視差

奥行き知覚を生じさせる要因の一つである。たとえば、列車に乗って窓の外を眺めると、注視点よりも手前にある物は進行方向と逆方向に、注視点よりも遠くにある物は進行方向と同じ方向に動いているように見える。つまり、視野内の物の動く方向が、対象が注視点よりも奥か手前かといった手がかりを与えている。また、注視点に近いものは小さく(遅く)動き、注視点から離れると大きく(速く)動いて見える。これが運動視差に含まれる大きさの情報である。つまり、この大きさの情報が、対象が注視点から奥行き方向にどれだけ離れているかという奥行き距離の手がかりを与えている。現実のように鮮やかな奥行きを感じるアニメーションは、こうした運動視差情報を取り入れている。(313 字)

文献: 石口彰 2006 視覚 新曜社

(2) プルキンエ現象

明るい場所では黄から赤系統の色が鮮やかに見え、薄暗い場所では緑から青系統の色が鮮やかに見える現象のこと。これは、網膜上の視細胞である錐体と桿体が、それぞれ異なる機能を持つことによると説明される。つまり、明るい場所は錐体、光のない場所では桿体が優勢であるが、薄暗い場所での視覚は薄明視と呼ばれ、錐体も桿体もはたらく。錐体と桿体とでは桿体の方が感度が全般に高く、感度の差は短波長側では 100 倍以上にもなる。また、感度のピークは桿体では 510nm 前後だが、錐体では 550nm 前後である。このため、薄暗くなると赤よりも青系統の色が鮮やかに見えるという。(272 字)

文献: 松田隆夫 1995 視知覚 培風館

(3) ヒューリスティック

問題解決、判断、意思決定を行う際に、情報処理能力や知識・時間の制約のもとで、効率的な手段によって素早く近似的答えを発見する解決法である。規範的でシステマティックな解法であるアルゴリズムとは異なり、必ず正答を導く保証はなく、系統的バイアスを導くことがある。

たとえば、よく知られるヒューリスティックの一つに、利用可能性ヒューリスティックがある。これは、ある出来事の生起確率を推測する際に、その出来事の事例をどれほど簡単に思い浮かべ判断することである。トバスキーとカーネマンの研究では、r で始まる単語と r が三番目にある単語ではどちらが多いかという問いに、r で始まる単語が多いと答えが多数であったが、実際は r が三番目に来る単語の方が多。回答者は、r で始まる単語の方が想起しやすかったため、そちらが多いと推測したと解釈できる。

(360 字)

文献: 下山晴彦(編) 2014 誠信心理学辞典(新版) 誠信書房

4 双極性障害に関する次の問いに答えよ。

(1) 双極性障害の特徴について説明せよ。

DSM-5 では、躁状態または軽躁状態とうつ状態の両方が現れるものを双極性障害と呼び、単極型のうつ病(DSM-5 の抑うつ障害群に相当)とは分離された。

双極性障害の特徴としては、躁病エピソード、軽躁病エピソード、抑うつエピソードの 3 種類から構成される点が挙げられる。躁病エピソードとは、気分が以上かつ持続的に高揚し、開放的または易怒的になること、加えて、異常かつ持続的に亢進した目標指向性の活動または活力があり、これらが 1 週間以上持続する。それにより、社会機能に著しい障害を引き起こす。軽躁病エピソードとは、躁病エピソードと同様だが程度はやや軽い。社会機能の著しい障害を引き起こすほどではない。抑うつエピソードとは、抑うつ気分、活動における興味や意欲の著しい減退があり、それらの症状による苦痛や、社会的機能の障害を引き起こすものである。(366 字)

(2) 双極性障害の分類について説明せよ。

DSM-5 によれば、双極性障害は、躁病エピソードとうつ病エピソードの反復、ときに妄想や幻覚を呈する双極性 I 型、軽躁病エピソードとうつ病エピソードの反復を呈する双極性 II 型とに分類される。(93 字)

(3) 心理職としての支援の方法について説明せよ。

今日の精神医療においては、生物-心理-社会モデルに基づいて心理的障害を理解し、治療を進めるという考え方がある。すなわち、双極性障害の治療やリハビリテーションにおいては、薬物治療(生物)のみではなく、心理療法(心理)を併用し、さらに生活環境や人間関係(社会)にもアプローチし、クライアントの生活全体の中で回復を進めていく視点が重要である。このとき基本となるのは、医療職、心理職、福祉職等との多職種協働である。

心理職が求められる支援の役割は、主として、症状の発生や維持にかかわる心理的なメカニズムを特定し、適切な介入を行い、クライアントの感情、思考、行動面の回復を図ることである。介入としては、効果が支持されているアプローチとして、心理教育、認知療法等が挙げられる。心理教育は、クライアントや家族が双極性障害を理解し、症状を管理できるようにすることに役立つ。認知療法は、クライアントの非機能的な認知を修正し適応を図ることに役立つ。なお、これらの支援に携わる際には、当然ながら、医療職、福祉職等との適切なタイミングでの密な情報交換等の連携が求められる。(472 字)

文献: DSM-5

丹野義彦・石垣琢磨・毛利伊吹・佐々木淳・杉山明子 2016 臨床心理学 有斐閣

5 次の語句について、それぞれ説明せよ。

(1) CARS

CARS とは、The Childhood Autism Rating Scale の略であり、小児自閉症評定尺度と訳される。ショプラーによって開発された、自閉症の程度を評価するための尺度であり、2 歳以上の子どもに適用できる。

基本的な評価方法は、自閉症児の行動特性および症状特性について、人との関係、模倣(言語と動作)、情緒反応、身体の使い方、物の使い方、変化への適応等、15項目にわたる臨床的な行動観察を行い、健常発達の子どもの基準とした場合どれほど偏りがあるか、その行動の特性性、頻度、強度、持続時間を考慮して検討するというものである。各項目4段階の評定を行い、総合得点によって、軽・中度または重度に診断される。(302字)

文献：小野次朗・上野一彦・藤田継道 2010 よくわかる発達障害 第2版 ミネルヴァ書房

(2) 児童養護施設

児童福祉法第41条に定める児童福祉施設の一つであり、保護者のない児童、虐待されている児童など、環境上養護を要する児童を入所させて、これを養護し、あわせて退所した者に対する相談その他の自立のための援助を行うことを目的とする施設と定義される。

入所対象となる児童は、1歳以上18歳未満の幼児、少年である。日本では、保護者がいない児童や事情により過程で生活できない児童の約9割が児童養護施設に入所しており、他国よりも施設養護への依存性が高い。入所理由としては、養育者の「虐待・酷使」、「放任・怠惰」の割合が高く、入所児には知的障害や発達障害を持つ児童が多い。なお、平成28年児童福祉法改正に基づき、施設入所から里親委託を増やす方向性が目指されている。(321字)

文献：厚労省雇用均等・児童家庭局 2015 児童養護施設入所児童等調査結果 厚労省

下山晴彦(編) 誠信心理学辞典 誠信書房

(3) 非言語的コミュニケーション

対人コミュニケーションのうち、言語以外のチャンネルを用いるものを非言語コミュニケーション(以下、「NVC」とする)と呼ぶ。具体的には、身振り・姿勢・表情・視線などの身体動作、容貌・体型・頭髪・体臭などの身体特徴、腕組み・握手・キス・ハグなどの接触行動、さらには、発話に伴う形式的特徴であるパラ言語や対人距離や個人空間などもNVCに含まれる。

NVCは、言語的コミュニケーションと同等かそれ以上のメッセージを伝達する。また対人関係の親疎を反映しやすく、感情的な特徴を示しやすい。NVCの特徴としてパターンソンは、情報提供、親密さの感情表出、会話時等の相互作用の調整、社会的統制の実行、対人サービス・作業目標の促進等を挙げている。(311字)

文献：土田昭司(編) 2001 対人行動の社会心理学 北大路書房

解答例作成：高橋美保